

## 井上道義さん、N響でタクト

### 「サントミュージゼ」開館記念公演

NHK交響楽団（N響）の公演が12日、上田市の市交流・文化施設「サントミュージゼ」内の市交流文化芸術センター大ホールであった。オーケストラ・アンサンブル金沢の音楽監督で、4月に大阪フィルハーモニー交響楽団の首席指揮者に就任した井上道義さん(67)がブルックナーの「交響曲第9番」などを指揮。サントミュージゼ開館記念事業の一つで、県内外の約1500人が聞き入った。

来場者が席に向かう際、地元高校生とN響楽団員のファンファーレの出迎えがあった。バイオリンの旋律が印象深いショーソンの「詩曲」と、マスネの「タイスの瞑想曲」が演奏された。バイオリニストの前橋<sup>ノブ</sup>汀子さんへの拍手が鳴りやまなかった。

指揮者の井上さんは咽頭がんで約半年間活動を休



井上道義さんの指揮で演奏するNHK交響楽団＝上田市のサントミュージゼ

止し、11日の神奈川県での公演で復帰したばかりだが、約1時間になるブルックナーの交響曲も力強く振り切った。井上さんは客席に「また呼んでください」とあいさつ。公演後の取材に、「良いホールができた。（新幹線が金沢までつながれば）アンサンブル金沢もすぐ来ることができるでしょう」と話した。

上田